

令和4年1月21日

荒川区長  
西川 太一郎 様

自由民主党荒川区議会議員団

土橋 圭子 鎌田 理光 町田 高 中島 義夫  
菅谷 元昭 明戸真弓美 茂木 弘 並木 一元  
斎藤 泰紀 北城 貞治 志村 博司

### 新型コロナウイルス対策に関する緊急要望（第10次）

オミクロン株による新型コロナウイルス感染症の感染急拡大により、区内の小・中学校、保育園、幼稚園、福祉施設等における感染者が急増し、医療機関も逼迫しつつあるなど、大変危機的な状況を迎えています。こうした厳しい状況にあって、日々急増する感染者対応やモデルナの接種間隔の短縮を含めた3回目のワクチン接種の着実な推進など、健康部をはじめとする区のご尽力を高く評価します。

かつて経験したことのない速度で感染者数が増加し続ける現下の厳しい局面を乗り越えるためには、これまで以上に強い危機意識を持ち、区と区議会が一丸となり、区民にとって必要な施策を迅速かつ着実に実行していく必要があります。

こうした状況を踏まえ、自由民主党荒川区議会議員団として、下記の事項を緊急要望いたします。

#### 記

- 1 小・中学校、保育園、幼稚園、福祉施設等の各施設における抗原検査・PCR検査の実施を徹底し、感染拡大防止と地域医療体制の確保を図ること。そのためにも、区として、予備費なども有効に活用し、抗原検査キットやPCR検査キットの確保に最大限努めること。
- 2 感染が拡大している小・中学校、保育園、幼稚園については、休校や休園、オンライン授業の実施など、子ども達の命と健康を最優先にした取組を速やかに実行すること。また、その際に必要となる経費については、区として最大限考慮すること。
- 3 急増する感染者を一人も取りこぼすことなく、必要な療養・医療に確実につなげることができるよう、全庁挙げて保健所の体制の更なる強化を図ること。
- 4 区民の命と健康を守る役割を担う保健所の業務を止めないためにも、各分野・各施設において必要な対策については、これまで以上に、各部署が責任をもって迅速かつ的確に対応していくこと。
- 5 3回目のワクチン接種について、区民や基幹サービスを担うエッセンシャルワーカーにあまねく迅速に接種できるように、これまで以上にスピード感をもって取り組むこと。また、小児への接種について、医師会と十分連携し、円滑な実施につなげること。